公表

事業所における自己評価結果

				<u> </u>	
事業所名		発達支援トレーニングらんぱす	はい	いいえ	公表日 令和7年 8月 1日
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		
環	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	8		
境 · 体 制		生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		構造化された環境化ではあるが更に改善が必要な点は都度話し合い、改善が必要である。
整備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められ る環境になっているか。	8		
	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	振り返りができていないことがある。振り返りをし改善を図るため スタッフミーティングにより話し合いを徹底する
業	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	スタッフミーティングで共有し業務改善に取り組んでいる
務改	8	この自己評価表の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開して いるか	8		
善	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	今のところ第三者評価を行っていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		
	12	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の二ーズや課題を客観的 に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1	面談等で吸い上げた保護者様の意向、本人の意向を適切に把握する。 普段の支援の中で何が必要かを分析し計画に盛り込んでいく。
	13	放課後デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの 最善の利益を考慮した検討が行われているか。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が 行われているか。	8		
	15	こどもの適応行動の状況を標準化されたツールを用いたフォーマルな アセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1	
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		
適	15	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	
過切な支援の		放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」「家族支援」「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。			
提	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		
供供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課 後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか	8		
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援 の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい るか。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の 振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	気づいた点等、振り返りを必ず行う
	1 //	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2	記録責任者が必ず記録をし、スタッフミーティングにおいて検証・ 改善を行う

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの 必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		
	24	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8		
	25	か こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定	8		
	26	を育てるための支援を行っているか 障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に	8		
-		精通した最もふさわしい物が参画しているか 地域の保健・医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教			
	27	育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻	8		
関係	28	の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	8		
機関や	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援 事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	2	相談支援事業所を通しての情報共有をしている。また、保護者から の情報(保育園等での様子が書かれた文書)を頂いている。今後は 必要の際に情報共有を行っていきたい。
保		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス			
護者	30	事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等 しているか		8	卒業生の実績がない
との	31	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター棟の専門機関と連 携し、助言や研修を受けているか	8		
連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。			町の行事等に参加をしそこに出席したこどもたちと活動する機会は ある。児童館との交流は今後検討していきたい。
-	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	7	1	協議会で決められた行事に参加している。
-		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課			
-	34	題について共通理解を持っているか。 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントト	8		面談時に個々にお伝えしている。ペアレントトレーニングを行うか
	35	レーニング等の支援を行っているか	7	1	は今後の課題
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		
	37	放課後等デイサービスを利用する際には、こどもや保護者の意思や尊重、こどもの最善の利益の最優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか	8		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い保 護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	8		
保護・	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	8		
者へ	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、 保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、	6	2	親子レクリエーション等を開催し保護者同士で交流する機会を設けている。ふれあいまつり、コミセン祭りなど兄弟できてもらい交流
の説		きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。			の場を設けているが、開催日数を増やすなど来年度に向けて検討す る
明等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するととも に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対 応しているか	8		
	42	定期的に会報等を発行し活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子 どもや保護者に対して発信しているか	7	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を しているか	8		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を 図っているか。	5	3	事業所内での行事等にはスペース的に招待できないが、招待された 場合は積極的に参加している。
	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定 し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施し ているか	8		
	47	業務継続計画を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に 避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8		
3E	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		
非常時	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が されているか。	7	1	医師の指示書が出る食物アレルギーのお子様のご利用が今までにないが、そのようなお子様のご利用の際は対応したい。
時		C11 CV 10 N's			いか、ていよフはの丁稼のこ利用の除は刈心したい。

	_					
3 等の対応	等	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置 を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		
	対	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		
		52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検 討をしているか。	7	1	どんな小さなことでもヒヤリハットで取り上げ再発防止に取り組む
		53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		
			どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。			